

埼玉県地震概況（2026 年 7 月）

熊谷地方気象台 2026 年 8 月 7 日

（ここに掲載する震源要素は暫定値であり、後日修正されることがあります。）

【概況】

今期間（2026 年 07 月 01 日～31 日）、埼玉県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回でした。
また、埼玉県内で震度 3 以上を観測した地震はありませんでした。
その他、特段目立った活動はありませんでした。

No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	国内 最大震度	県内 最大震度
1	2026/07/01 21:08	岩手県沖	40° 05.7' N	142° 27.1' E	40 km	M6.1	4	1
2	2026/07/02 20:48	福島県会津	37° 11.7' N	139° 26.7' E	144 km	M4.7	2	2
3	2026/07/22 08:01	埼玉県秩父地方	36° 02.5' N	139° 00.0' E	11 km	M2.1	1	1
4	2026/07/31 11:40	茨城県南部	36° 16.9' N	139° 56.9' E	95 km	M3.6	1	1

【令和 8 年熊本地震】

7 月 28 日 16 時 27 分に熊本県熊本地方の深さ 16 km でマグニチュード 7.1 の地震が発生し、熊本県で震度 7 及び長周期地震動階級 4 を観測しました。この地震により、熊本県を中心に大きな被害が生じています。気象庁では、この地震の名称を「令和 8 年熊本地震」と決めました。この名称は、この地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動を指します。

「令和 8 年熊本地震」に関連して、地震の活動状況や被災者・復旧担当者向け気象支援資料等を気象庁ホームページ内の「令和 8 年熊本地震ポータルサイト」で掲載しています。

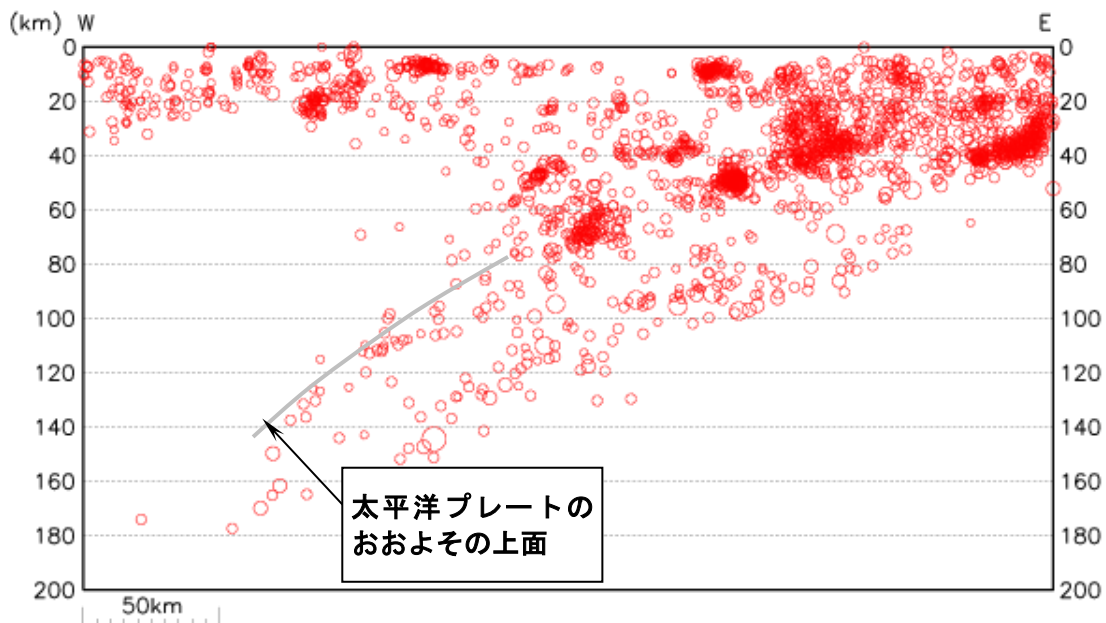
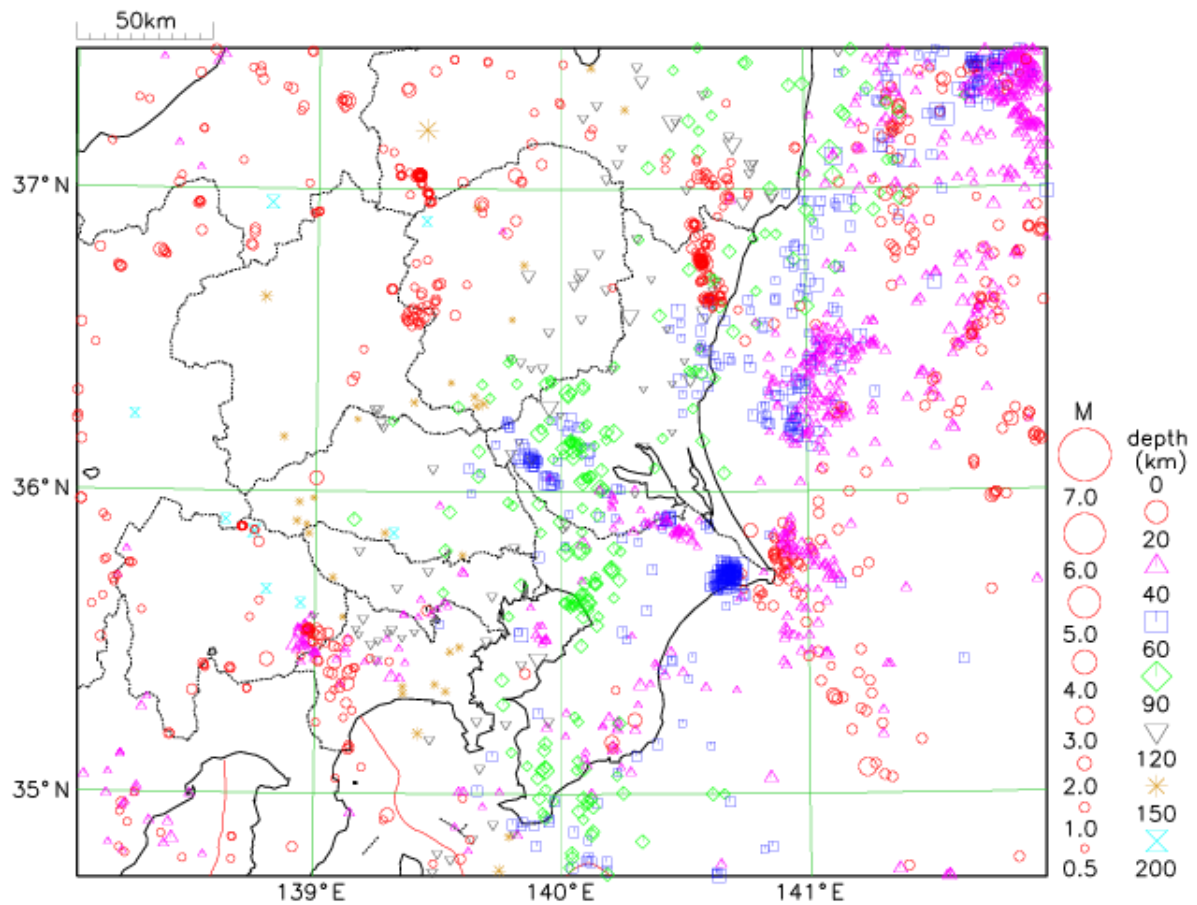
令和 8 年熊本地震ポータルサイト

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html



【埼玉県周辺で発生した地震の震央分布図及び断面図（2026 年 07 月 01 日～07 月 31 日）】

Mはマグニチュードで 0.5 以上、深さは 200km までの地震を示しています。



【県内の震度観測状況】

＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

地震 番号	震源 時 日 時 分 各 地 の 震 度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
1	2026 年 07 月 01 日 21 時 08 分 震度 1：加須市三俣＊，加須市大利根＊，羽生市東＊，春日部市粕壁＊，春日部市谷原新田＊ 宮代町笠原＊，さいたま中央区下落合＊	岩手県沖	40° 05.7' N	142° 27.1' E	40km	M6.1
2	2026 年 07 月 02 日 20 時 48 分 震度 2：宮代町笠原＊ 震度 1：熊谷市大里＊，行田市本丸＊，行田市南河原＊，加須市三俣＊，加須市騎西＊ 加須市北川辺＊，加須市大利根＊，東松山市市ノ川＊，東松山市松葉町＊，羽生市東＊ 鴻巣市中央＊，鴻巣市川里＊，鴻巣市吹上富士見＊，久喜市下早見，久喜市青葉＊ 久喜市菖蒲＊，久喜市栗橋＊，久喜市鷲宮＊，吉見町下細谷＊，ときがわ町桃木＊ 春日部市粕壁＊，春日部市金崎＊，春日部市谷原新田＊，狭山市入間川＊，上尾市本町＊ 桶川市泉＊，北本市本町＊，蓮田市黒浜＊，幸手市東＊，伊奈町中央＊，毛呂山町中央＊ 川島町下八ツ林＊，さいたま西区西大宮＊，さいたま北区宮原＊ さいたま大宮区天沼町＊，さいたま大宮区大門＊，さいたま見沼区堀崎＊ さいたま中央区下落合＊	福島県会津	37° 11.7' N	139° 26.7' E	144km	M4.7
3	2026 年 07 月 22 日 08 時 01 分 震度 1：長瀬町野上下郷＊	埼玉県秩父地方	36° 02.5' N	139° 00.0' E	11km	M2.1
4	2026 年 07 月 31 日 11 時 40 分 震度 1：加須市大利根＊，久喜市下早見，春日部市金崎＊	茨城県南部	36° 16.9' N	139° 56.9' E	95km	M3.6

注：地震の震源要素（緯度、経度、深さ及びマグニチュード）、震度等は、再調査のあと修正することがあります。

【情報・資料の閲覧・検索ご案内】

埼玉県地震概況に掲載していないデータや最新のデータについては、気象庁ホームページ「地震の活動状況」（<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/index.html>）や熊谷地方気象台ホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/kumagaya/>）をご覧ください。

■ 最新の情報・地震活動データ（一部は過去のデータも表示可能）

○震央分布

1 週間前から本日（約 1 時間前まで）の、地震活動状況を掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>

○震源や震度等に関する情報

震度 1 以上を観測した地震について、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、各地の震度について発表した情報を掲載しています。

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

○長周期地震動に関する観測情報

長周期地震動による高層ビル内での被害の発生可能性等についてお知らせする長周期地震動に関する観測情報を掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

○推計震度分布図

震度 5 弱以上を観測した地震について、各地の震度データをもとに震度を推計し、震度 4 以上を観測した地域の震度を面的に表現した図を掲載しています。

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

○津波警報・注意報・予報

発表した津波警報・注意報や予報のほか、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどに関する情報を掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami&elem=warn>

■ 地震の観測データ・解析結果

○震度データベース検索

1919 年から 2 日前までの期間で、過去に震度 1 以上を観測した地震を県別・観測点別に検索できます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

○発震機構解（上段は速報、下段は精査後）

主な地震について地震を起こした断層がどのように動いたかを解析した資料を掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/mech/index.html>

○震源リスト

2 日前までの地震の震源リストや震央分布図を日別に掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/daily_map/index.html

○長周期地震動の観測結果

最新の観測結果から試行開始以降の期間における長周期地震動階級 1 以上を観測した地震リストなどを掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/eew/data/ltpgm_explain/rireki.html

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

・本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

【防災一口メモ】

8月26日は「火山防災の日」

■ 「火山防災の日」とは

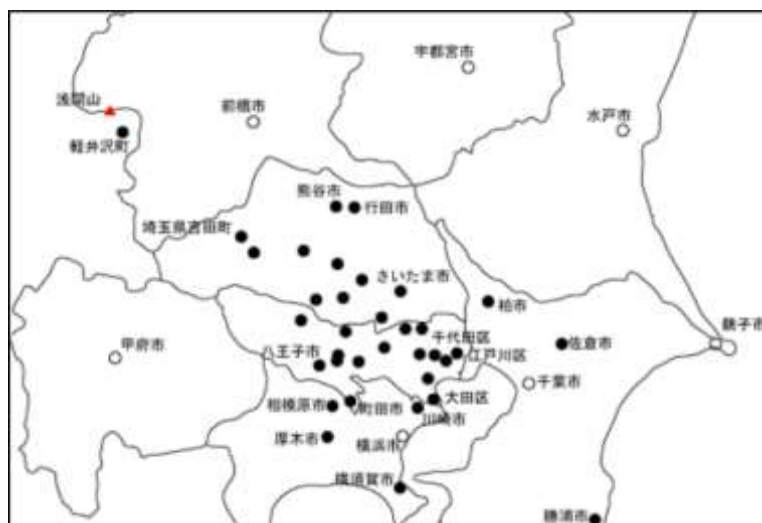
2023 年に活動火山対策特別措置法が改正され、国民の火山防災に対する関心と理解を深めるため、「火山防災の日」が制定されました。8 月 26 日は、1911 年に浅間山で日本初の近代的な火山観測が始まった日に由来しています。

■ なぜ埼玉県でも火山防災？

埼玉県には活火山はありません。しかし、浅間山や富士山など近隣の火山が噴火した場合、火山灰が県内に降り積もる可能性があります。実際に、近年では 2004 年と 2009 年の浅間山噴火により、埼玉県内で降灰が確認されています。火山災害は決して他人事ではありません。



2004 年 9 月 14 日の浅間山噴火の様子。軽井沢測候所(当時)から撮影。

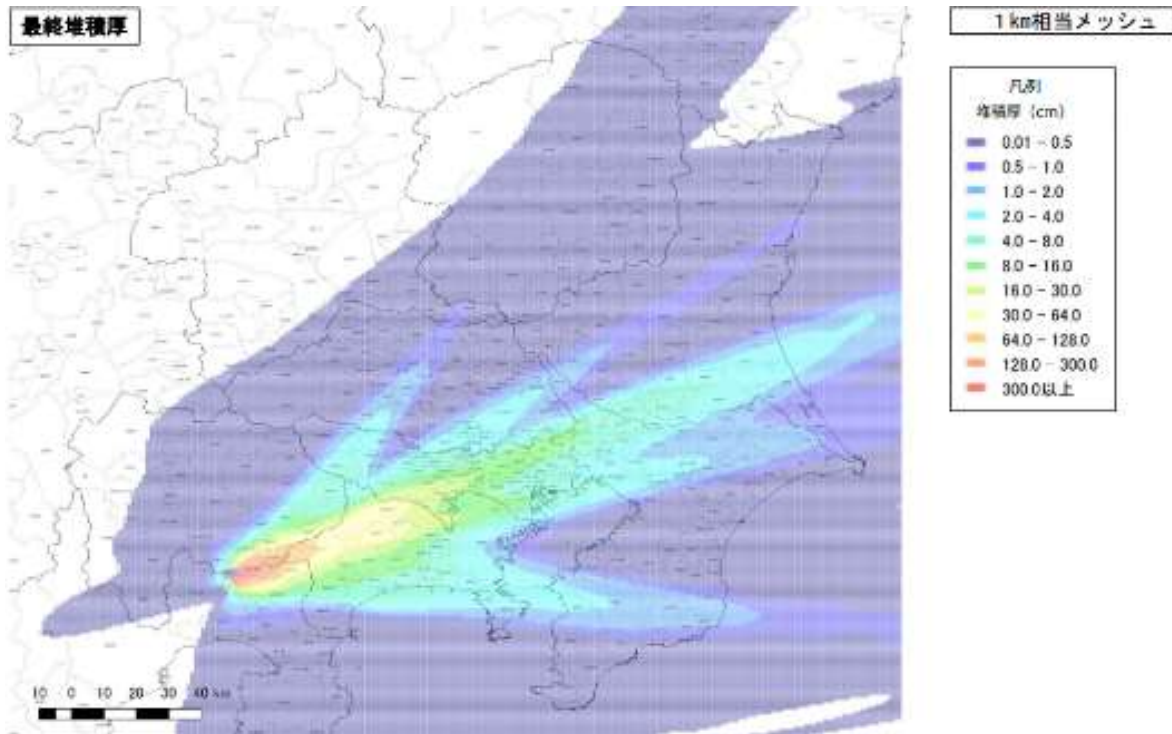


2004 年 9 月 16 日未明～17 日夕方までのほぼ連続的な噴火による降灰分布。
●は降灰の報告があった地点、○は降灰なしの報告があった主な地点を示す。

■ 将来の噴火でも埼玉県に影響が及ぶ可能性があります

埼玉県では富士山や、浅間山、草津白根山などが噴火した際に降灰の可能性があると考えられています。例えば富士山が大規模に噴火した場合、風向きによっては県内でも数センチメートル以上の降灰となる可能性があります。

噴火が発生した際は、気象庁が発表する噴火警報や降灰予報を確認し、状況に応じた行動をとることが大切です。



西南西風が卓越する場合に想定される降灰の最終堆積厚。地図上の色で塗られた部分に火山灰が堆積すると想定されている。図中右側の凡例は堆積厚(cm)を示す。

大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ「降灰シミュレーションのパラメータと計算結果」（令和2年4月）より引用。

【参考】

熊谷地方気象台「火山防災の日と埼玉県内の降灰」

<https://www.jma-net.go.jp/kumagaya/shosai/chishiki/kazan.html>

噴火警報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=volcano>

降灰予報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ashfall>

気象庁「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>

内閣府防災情報 火山防災に関する普及啓発映像資料【内閣府 HP】

動画「富士山の大規模噴火と広域降灰への対策一日頃からの備えを日常に一」

https://www.cao.go.jp/lib_012/taisakumovie.html



火山灰への備え



リーフレット『火山灰への備え』

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/sonae_kazanbai/index.html

マンガで解説！火山災害への備え

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/sonae_manga/index.html



以上